商学部創立記念 シンポと祝賀会

10月 生田で

今年、商学教育110年、学部創立50周年を迎えた商学部（佐々木重人学部長）は、学生、卒業生、地域、未来の学部生を結ぶさまざまな事業を展開している。

商学部のさらなる発展を期して、10月には記念シンポジウムおよび祝賀会を生田キャンパスで開催する。

記念シンポジウムでは各界で活躍する卒業生による基調講演、パネルディスカッションを行う。また昨年度から開講した特殊講義「ビジネス・インサイト」（Ⅰ・Ⅱ）の優秀チームの表彰を行う。

◇

記念シンポジウムの詳細は以下のとおり。

〔日時〕10月17日（土）14時

〔場所〕生田キャンパス10号館10301教室

〔テーマ〕活躍する専大生の軌跡と未来

〔基調講演〕川上達郎氏（昭48商、ヨークマート取締役会長）

〔パネルディスカッション〕パネリスト▽豊島創氏（平4商、バンダイナムコビジネスアーク）▽川崎信行氏（平12商、オリエンタルランド）▽梶綾子氏（平20商、大塚製薬）

※問い合わせ＝商学部教務課☎044・911・1255

シリーズ 商学部50周年 8

個人の金融行動テーマに アクティブラーニング

渡邊・専門基礎ゼミ

商学部では本年度、初の試みとしてアクティブラーニング※を活用した専門基礎ゼミナール（2年次前期）を展開している。

専門基礎ゼミは、2年次後半から始まる専門ゼミの直前に受講することで〝本番〟の学習をよりスムーズにするのが狙い。自主的に考え、議論、発表、課題解決を行う実践の場となる（奥西康宏商学部教務委員長談）。

本年度は9ゼミで実施。ビジネスゲームなどの実践や文献講読により議論することで力をつけるなどやり方はさまざまだ。

考え議論し発表

渡邊隆彦准教授（国際金融）の専門基礎ゼミは、「パーソナルファイナンス」がテーマ。社会に出て適切な金融行動をとるため、人間の生き方をふまえた「お金」の管理を学ぶ。6月23日の授業でゼミ生は「人生のリスクにおける意思決定」を考えた。

渡邊准教授は「心臓に持病がある在宅患者に毎日確実に薬を飲ませるための方策を考えよ。予算は1日3ドル」という課題を出した。「3ドル以上の価値を持ち、人間の心理を揺さぶる名案を考えて」と注文した。

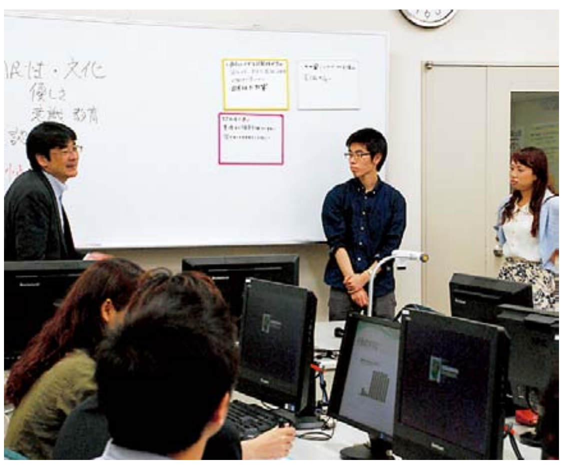
ゼミ生8人は3グループに分かれて頭をひねった。「3ドルの朝食とともに毎朝宅配便で薬を届け服用を義務化する」「食べ物に薬を混ぜる」「続けて飲んだらその分の金額に相当する商品券を出し、お楽しみ感を持たせる」……アイデア発表には、拍手や笑いが湧き起こった。

全グループの発表を終えると渡邊准教授は効果的な一案を紹介。「90日分の270ドルを先に患者に与え、薬を取らない日はその都度、銀行口座から引く」。そして、「人間は1回得たものを失うと、よりダメージを感じる」と行動経済学の観点から説明した。こうして双方向授業が進む。

「すごく面白い。ワクワクしながらゼミに臨んでいます。話し合って人の意見を聞けるところがいい」（梅田拓実さん）。「話題が身近で、学びたいことを学んでいる実感があります」（東平夏美さん）――と学生たちにすこぶる好評。

渡邊准教授は「とっつきにくいと思われがちな金融を、個人の視点でとらえるようにしたい。とにかく『考える』クセをつけてもらいたい」と期待している。

※アクティブラーニング＝一方的な講義形式の授業とは異なり、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどを通じて自ら積極的に学ぶ学習方式。



▲ 渡邊准教授（左）と発表するゼミ生

▲ ビジネスゲームがテーマの会計専門基礎ゼミナールも（写真は成岡浩一ゼミ）

地域の実務家らが講演

商学部創立50周年記念特殊講義「ビジネス・インサイトⅡ」

学生が解決策に取り組む

▲ 学生の質問に答える講師の地井氏（中央）

商学部創立50周年記念の特殊講義「ビジネス・インサイトⅡ」（担当・渡辺達朗教授）が佳境を迎えている。ゲスト講師の直面するさまざまな課題を学び、問題点を掘り下げ、実践的な解決策を提示する授業で、6月16日には5人目のゲスト講師が生田キャンパスを訪れた。

ビール工房のチャレンジ紹介

講演したのは、川崎市多摩区役所近くでレストラン併設の手造りビール工房「クラフトビア ムーンライト」を営むムーンライト代表の地井悦子氏。商店街の空き店舗を活用し、2009年から低コストで少量多品種のビールを醸造する。3年前には多摩区の要請を受け、「かわさき宙（そら）と緑の科学館」のリニューアルを記念したビール「スピカ」を発売。ネーミングとラベルのデザインを商学部の前川明彦ゼミ（当時）の学生が手がけるなど、本学との縁も深い。

地井氏は商品名を公募で決め、原材料に地元産のホップや果物、野菜を使うなど地域に密着した経営方針を説明。一方で、大量生産できない製法であることや、人手不足で開発に十分な時間が取れない現状を語った。同社のクラフトビールと大手メーカーのビールを、銘柄を伏せてテイスティングする時間もあり（20歳以上限定）、約50人の学生は五感を研ぎ澄ませてそれぞれの特徴を書き出していた。

学生は川崎市やその周辺で活躍する地井氏ら実務家など6人の講演をもとに、取り組む課題を選択。考察を深めて解決プランをまとめ、7月21日にプレゼンテーションを行う。

キャンパス情報

学生相談室・学生部共催ワークショップ「アサーション・トレーニング―より良き自己表現のためのプログラム―」

▽日程＝9月10日(木)、11日（金）▽場所＝専修大学サテライトキャンパス▽参加費＝600円▽講師＝山中淑江氏（立教大学学生相談所）▽申し込み締め切り＝7月24日（金）

問学生相談室【生田】☎044・911・1278【神田】☎03・3265・6216

学生部主催2015年度 「懸賞論文・文芸作品コンクール」作品募集

学生の幅広い能力と創造性を生かした論文や文芸作品を募集します。

【懸賞論文】▽応募資格＝本学学部生▽テーマ＝自由論題▽書式＝A4（縦）に横書き※一行40字×30行▽字数＝1万2000字程度

【文芸作品】▽応募資格＝本学学部生および大学院生▽テーマ＝自由▽書式＝A4（横）に縦書き※一行40字×20行▽字数＝設定なし

【表彰】▽鳳賞（各1点）＝20万円▽柘植光彦文学賞（文芸作品のみ1点）＝20万円▽優秀賞（各数点）＝5万円▽佳作（各数点）2万円▽努力賞（入賞者以外の応募者全員）＝図書券

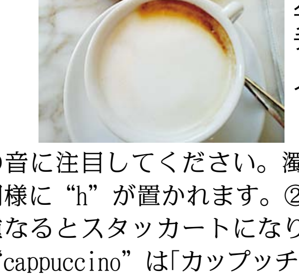
【提出】▽提出方法＝プリントアウトした紙原稿1部および電子データ（懸賞論文のみチェックリストを添付）▽提出先＝学生生活課（生田・神田）、二部事務課▽提出期間＝9月18日（金）～25日（金）

※応募に際しては、ホームページ掲載の募集要項を必ず参照してください。

外国語のススメ 外国語教育研究室 ―●40●―

横田 さやか 経済学部非常勤講師

おいしいイタリア語



◀バールでいただくイタリアの朝食――甘いクロワッサンとカプチーノ

さあ、書き取りの練習です！「スパゲッティ」、「ジェラート」、「カプチーノ」とイタリア語で書いてみましょう。いかがでしょうか。イタリア語の綴りを勉強する前に、トマトソースのスパゲッティや、アルプス山脈よろしく高々と盛られたあのアイスクリームや、きめ細やかな泡にハートが描かれたカプチーノを想像して思わずヨダレを垂らしそうになってはいませんか!?

正解は、“spaghetti” “gelato” “cappuccino”。食べ物のことばかり考えて現（うつつ）を抜かしているわけではありませんよ。イタリア語の綴りに特徴的なポイントを学習しているのです！

では、ポイントをまとめましょう。①カキクケコの音には“h”（アッカ）が入ります。“spaghetti”の“ゲ”の音に注目してください。濁音でも同様に“h”が置かれます。②子音が重なるとスタッカートになります。“cappuccino”は「カップッチーノ」、はっきりと口をカプカプさせて読みましょう。③子音の“j，k，w，x，y”は、イタリア語では使用されず主に外来語を表記するときにのみ使われます。「ジェラート」には要注意、“jelato”とは書かず“gelato”と綴ります。④アクセントは、基本的には後ろから２つ目の母音に置かれます。例外のひとつは“tiramisù”。最後の母音にアクセント記号があるので、「ティラミス！」と一息に読み上げます。

こんなふうに、身近な「おいしそうな」単語に注意を向けてみるだけで、イタリア語学習の第一歩を踏み出せることがわかります。

※短縮版。全文はCALL教室ホームページで